## 農家と事業者の連携 DX コンソーシアム 生産者向けアンケート結果

2. 昨年1 年間の野菜収穫量と、そのうち出荷できなかった概ねの量(主たる品目ごとの個数、重量 など)

6 件の回答

ナス収穫予定2000個、出荷1000個、できない500個 ピーマン収穫2000個、出荷1000個、できなかった1000個

無記入

白菜1500玉、△800 キャベツ1000玉。△300

里芋 予定1000kg、実700kg、未出荷300kg ジャガイモ 800kg、150kg、650kg 長ネギ 1000kg、900kg、100kg、 中玉トマト 300kg、100kg、 200kg 200kg、 150kg、 50kg、 ナス

ブロッコリー240、カリフラワー100、白菜300、トウモロコシ200

玉ねぎ 収穫5トン、 出荷できなかった量 1トン

3. 出荷できなかった原因 を気がついた範囲でお聞かせください。

6 件の回答

虫食い、擦れ、痛み、成長不良

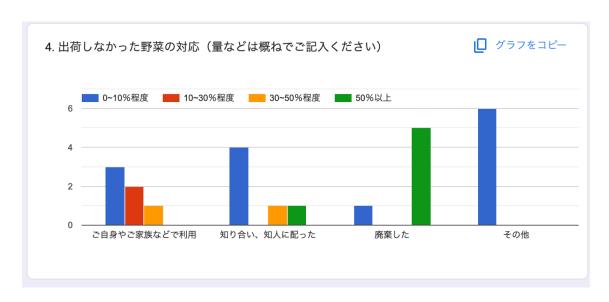
一定量は、自活用を除いて農協に出荷している、出荷できなかった原因は、農協の基準に通さなかったことが 主原因

播種時期、定植時期の遅れ、乾燥、低温

高温障害により品質低下と生育不良

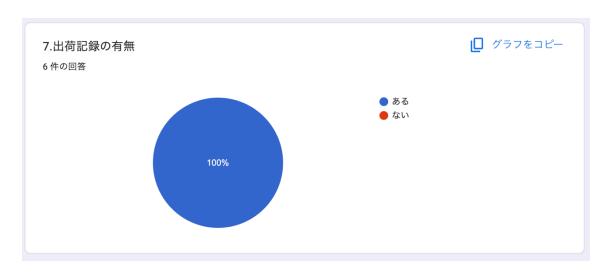
害虫です。手袋をして葉の1枚1枚をめくって虫をつぶすのですが、なかなか追いつけなく、葉が網目になって 売り物になりません。トウモロコシもハウスの中の早いものはいいのですが外は全くだめです。

収穫後保管している間に芽が出てきて出荷できなくなった











8. 現状抱えている課題 (気候の変化、コスト増加、後継者・労働者不足以外で) 6 件の回答

害虫対策、無農薬栽培、イノシシ対策、害獣、鳥

人手不足、後継者、生産者の発売価格が低いため収益が少ない、労働力に対する成果をもう少し上げたい

体力に合わせた規模縮小

高温対策、労働者不足

高齢者なので気持ちはあっても出荷の量も年々減少しています。気候の変化にも困ったものです

無記入

9. 業務用カット野菜事業者に販売できるとすると、販売可能な野菜などと概ねの量6件の回答

多品目、少量栽培なので廃棄する量が少ない、そのため、カット野菜事業者に販売できる量はほとんど無いと 思います。

カット野菜の規準が不明、対応ができればやってみたいと思う

無し

カット野菜は考えていない

少しずつハウスの中で種蒔きを進めていますが、どの程度育つかまだ分かりません

無記入

